

過去も未来も知るといのが覚りです

仏説無量寿経に阿弥陀仏が48の願いを立てて成就したとあります。第五、第六の願いを読みますと、「私(法蔵菩薩)が阿弥陀仏になれば、私の国の人は無量の過去にしてきた行為をすべて知る」「阿弥陀仏の国のすべての人は、未来のすべての領域で諸仏と同じはたらきを得させる」と説かれています。

過去にしてきた自分の罪を知らせることによって、未来に罪を作らせずにあみだぶつと同じはたらきをさせることを阿弥陀仏は願っています。

東日本大震災から4年が経ちます。「もう4年」と感じるか「まだ4年」と感じるかで思いが変わってきます。しかし、人間の行為というのは、「歴史は繰り返す」「喉元過ぎれば熱さ忘れる」「風化」「もう70年もたったから」と、いつまでも同じが続かない領域で右往左往しています。全てが真実ではないから迷っているのです。

阿弥陀仏は真実の良い方向に変化させるようにはたらいておられるのです。それが、なもあみだぶつのお念仏なのです。

自分がやるべきことが見えてきた時に救われているのです。

合掌

写真は西大谷

